

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 7 区分

【発行日】令和 1 年 8 月 29 日 (2019.8.29)

【公開番号】特開 2018-24507 (P2018-24507A)

【公開日】平成 30 年 2 月 15 日 (2018.2.15)

【年通号数】公開・登録公報 2018-006

【出願番号】特願 2016-157824 (P2016-157824)

【国際特許分類】

B 6 5 G 47/14 (2006.01)

【F I】

B 6 5 G 47/14 Q

B 6 5 G 47/14 1 0 1 C

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 19 日 (2019.7.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有頭部品を多数貯留可能なかつすり鉢状に形成したバスケットと、このバスケットの下方から上方へ揺動可能なすくい板と、このすくい板の揺動によってすくい上げられた前記有頭部品を吊下する搬送面を備えかつバスケット内からバスケットの前方へ前記有頭部品を振動搬送する振動レールとを備えて成る部品供給装置において、

前記振動レールは、その両側面に無振動プレートを配置して成ることを特徴とする部品供給装置。

【請求項 2】

前記無振動プレートは、その上面が前記振動レールの搬送面よりも低い位置になるよう設定されていることを特徴とする請求項 1 に記載の部品供給装置。

【請求項 3】

前記無振動プレートは、その厚みを前記有頭部品の軸部直径以下に設定したことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の部品供給装置。

【請求項 4】

前記無振動プレートは、その上面に前記有頭部品をバスケット内へ滑落させ易い斜面を形成して成ることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 3 の何れかに記載の部品供給装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、有頭部品を多数貯留可能なかつすり鉢状に形成したバスケットと、このバスケットの下方から上方へ揺動可能なすくい板と、このすくい板の揺動によってすくい上げられた前記有頭部品を吊下する搬送面を備えかつバスケット内からバスケットの前方へ前記有頭部品を振動搬送する振動レールとを備えて成る部品供給装置において、前記振動レールは、その両側面に無振動プレートを配置して成ることを特徴とする。なお、前記無振

動プレートは、その上面が前記振動レールの搬送面よりも低い位置になるよう設定されていることを特徴とする。また、前記無振動プレートは、その厚みを前記有頭部品の軸部直径以下に設定したことを特徴とする。さらに、前記無振動プレートは、その上面に前記有頭部品をバスケット内へ滑落させ易い斜面を形成して成ることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

さらに、前記プレート 5 R (5 L) は、それぞれ前記前方傾斜面 1 1 R (1 1 L) へ向かって傾斜する斜面を備えて成る。これにより、無振動プレート 5 の上面は狭いエリアになるので、前記ねじ W n のバスケット 1 0 内への落下をより促すことができる。しかも、搬送するねじ W の頭部が傘状であるならば、この傘状のねじ W を振動レール 3 0 に吊り下げても傘状に斜め下方へ張り出す頭部に無振動プレート 5 が干渉し難い。